

学園祭



学園祭が成功裏に無事終了した。生徒・職員の合同実行員会を中心に、各係が連携して取り組んで頂いた。先生方の熱心なサポートに感謝しています。地域の方々にも北農の良さをPRできたと考える（来客数は1600名?）

生徒達も、約束されたルールの中で、楽しく、生き生きと取り組んでいたのではないだろうか。学校行事は子供たちを大きく成長させてくれる。企画力・協調性・創造性・自主性・・・、生徒達も心地よい疲労感に包まれていたと思う。この達成感や満足感を学校生活への自信や誇り、やる気につなげて欲しい。また、そのような指導をお願いしたい。先生方も日頃見られない生徒の一面が覗けたはずだ！。是非、担任の先生方はSHRで、各教科担当も各自の授業の第一声で「よく頑張った！〇〇が良かった！」と誉めて欲しい。

一方で、課題もあっただろう。反省点は、生徒自ら出てくる方が望ましい。アンケートの内容を工夫し、自らの言葉で取組を振りかえさせるようにして欲しい。

※開閉会式の定時制の整列が一番早く、全員そろいのポロシャツで臨み、目立って良かった。準備のない中でよく頑張ったと思う。

慰労会・観月会も、急な呼びかけにもかかわらず、50名以上の先生方が参加して頂いた。幹事の熱帯農業科・社会科の先生方にも難儀させました。ありがとうございました。

県定通制生徒生活体験発表大会

去った10月7日(土)かでな文化センターにて県定通制生徒生活体験発表大会が、平敷昭人県教育長、當山宏嘉手納町長はじめ多数の来賓のご臨席のもと開催された。

10名の発表があり、本校からは古波あやかさんが、「演題：今を生きる」で堂々と発表した。古波さんは上位入賞は成らなかったが奨励賞を頂いた。検討を称えたい。また、10名の発表は、様々な苦勞を乗り越え努力をし前に進もうと訴えたもので、感動と勇気を与えるものであった。本校の生徒の心にもきっと響いたであろう。

また、北農生は式服で臨み、頭髪も黒染めし、みなりも、聞く態度も良かった。先生方の指導に感謝しています。他の学校や主事の皆さんからもお褒めの言葉もあった。

